事務事業名		ふるさと・おおふなとお話大賞開催事業		☒ 実施計画登載事業	☐ 合併建設計画登載事業
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 - 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	25 生涯学習の推進			
	基本事業名	02 市民の学習活動への支援			
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 05 04 21	
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課			
	課長名	江刺雄輝			
	係名	中央公民館	電話 26-3166		
	担当者	新沼孝太	内線 432		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・ふるさとを舞台にした童話やお話の創作活動を通して、参加した児童生徒等の郷土愛を育み、青少年の健全育成を図る。 ・主な事業は次のとおり ①さんりく・おおふなとお話大賞(小学生から一般まで対象に募集、受付、審査、表彰作品集の発行等を行う) ・主な業務は、①募集チラシ作成・配布、②参加者及び作品募集、③事業実施または審査、④表彰式 ・主な事業費は、報償費(審査員、入賞賞品、講師等)となっている。 ・また、青少年地域活動事業を活用し、絵本作家を講師に招き、おはなしづくりの講習会を実施した。		全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	
		都道府県支出金	
		地方債	
		その他	
		一般財源	
		事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数		
	延べ業務時間		
	人件費計(B)	0	
トータルコスト(A)+(B)		0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) さんりく・おおふなとお話大賞のみを実施した。(読み聞かせ会は26年度で廃止した) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 昨年度と同様、さんりく・おおふなとお話大賞を実施する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 開催回数(読み聞かせ会)</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 参加者(読み聞かせ会)</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ 応募件数(さんりく・おおふなとお話大賞)</td><td>件</td></tr> </table>	名称	単位	ア 開催回数(読み聞かせ会)	回	イ 参加者(読み聞かせ会)	人	ウ 応募件数(さんりく・おおふなとお話大賞)	件
名称	単位								
ア 開催回数(読み聞かせ会)	回								
イ 参加者(読み聞かせ会)	人								
ウ 応募件数(さんりく・おおふなとお話大賞)	件								
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 一般市民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ</td><td></td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) おはなしづくりを通じて、参加した児童生徒等の郷土愛を育み、青少年の健全育成を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 参加率(⑤イ+ウ/市民)</td><td>%</td></tr> <tr><td>シ</td><td></td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 参加率(⑤イ+ウ/市民)	%	シ		ス	
名称	単位								
サ 参加率(⑤イ+ウ/市民)	%								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・学習意欲の啓発・向上がなされている。 ・主体的な学習活動が行われている。 ・学習成果が発揮されている。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																								
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(計画)</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td>116</td> <td>122</td> <td>92</td> <td>57</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>129</td> <td>137</td> <td>107</td> <td>72</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>0</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>369</td> <td>377</td> <td>347</td> <td>312</td> <td>387</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>回</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>169</td> <td>144</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>24</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>26</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>39376</td> <td>39117</td> <td>39090</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>0.5</td> <td>0.45</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			単位	年度						23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)	投入量	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円		116	122	92	57	134	地方債	千円							その他	千円							一般財源	千円	0	13	15	15	15	13	事業費計(A)	千円	0	129	137	107	72	147	人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	0	60	60	60	60	60	人件費計(B)	千円	0	240	240	240	240	240	トータルコスト(A)+(B)		千円	0	369	377	347	312	387	⑤活動指標	ア	回	-	2	3	-	-	-	イ	人	-	169	144	-	-	-	ウ	件	-	24	32	33	26	50	⑥対象指標	カ	人	39376	39117	39090	-	-	-	キ							ク							⑦成果指標	サ	%	-	0.5	0.45	-	-	-	シ							ス						
	単位			年度																																																																																																																																																																				
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)																																																																																																																																																																	
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																						
	都道府県支出金	千円		116	122	92	57	134																																																																																																																																																																
	地方債	千円																																																																																																																																																																						
	その他	千円																																																																																																																																																																						
	一般財源	千円	0	13	15	15	15	13																																																																																																																																																																
	事業費計(A)	千円	0	129	137	107	72	147																																																																																																																																																																
人件費	正規職員従事人数	人	0	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																
	延べ業務時間	時間	0	60	60	60	60	60																																																																																																																																																																
	人件費計(B)	千円	0	240	240	240	240	240																																																																																																																																																																
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	369	377	347	312	387																																																																																																																																																																
⑤活動指標	ア	回	-	2	3	-	-	-																																																																																																																																																																
	イ	人	-	169	144	-	-	-																																																																																																																																																																
	ウ	件	-	24	32	33	26	50																																																																																																																																																																
⑥対象指標	カ	人	39376	39117	39090	-	-	-																																																																																																																																																																
	キ																																																																																																																																																																							
	ク																																																																																																																																																																							
⑦成果指標	サ	%	-	0.5	0.45	-	-	-																																																																																																																																																																
	シ																																																																																																																																																																							
	ス																																																																																																																																																																							

事務事業ID	1068	事務事業名	ふるさと・おおふなとお話大賞開催事業
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	三陸町内の読書推進事業の一環として「手づくり絵本教室」は昭和60年、「さんりくおはなし大賞」は平成2年、「おすすめ本コンテスト」は平成11年から開始。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	三陸町内の読書推進事業として各事業が行われてきたが、大船渡市との合併で市立図書館にも類似事業がある。 (市立図書館事業:手づくり絵本教室、読書感想文コンクール、おはなしパレード等) (平成23年3月11日に発生した東日本大震災に伴う津波により、三陸公民館が甚大な被害を受けたため、平成23年度から事業を中央公民館で実施することになった。)
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	学校関係者や審査員等から「本を読んだ成果等を文章にまとめることは大切なことなので継続してほしい」という要望がある。 しかし、学校側にとっては、コンテスト関係が市立図書館と三陸公民館からの2箇所から募集がかかることになり、取り組みが大変であるという声も聞かれる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 読書推進事業を市で行うことにより、読書活動が広く市民に普及し、豊かな心を育むことができる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民の心を育む読書推進事業は、極めて公共性が高いため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 広く市民を対象として豊かな心を育むことをねらいとするため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 図書館との間で役割分担を明確にし、事業成果の向上を図る必要がある。具体的には、図書館実施事業(手づくり絵本教室等)で読書推進を進め、さんりく・おおふなとお話大賞では郷土愛の涵養と青少年の健全育成に注力する。また、過去のおはなし大賞の応募作品に市民が親しむことができるよう、市の公式ホームページ等で閲覧可能な環境を整備する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 児童生徒等の郷土愛の涵養と青少年の健全育成に支障を生ずる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 郷土愛の涵養と青少年健全育成を目的としたおはなし大賞と読書推進を目的とした図書館実施事業は事業目的が異なるため統廃合は適切ではない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は報償費がほとんどである。消耗品費としては、作品集をつくる最低限の費用となるため削減の余地がない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 事業への対応時間は、必要最低限であるため削減の余地がない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者負担は最低限で、講座等の材料費がそれにあたる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>さんりく・おおふなとお話大賞は、震災を題材にした作品が多く見られたが、いずれも明るく前向きな内容になっており、郷土愛の涵養と青少年の健全育成を図ることができた。また、大船渡市に縁のある方にも応募資格があることから、事業の拡充を図るため、フェイスブック・ツイッター等を活用して、事業のPRに努める。併せて27年度の応募作品を市の公式ホームページに掲載し、広く市民の閲覧に供した。</p>							
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																		
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																		
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																		
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																		
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p>☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>さまざまな広報媒体により市内小中学生や当市にゆかりのある方に広く募集の呼びかけをする。また、26年度以前の応募作品を市の公式ホームページに掲載する等の方策を講じ、市民の方が優れた作品を閲覧できる環境の整備を進める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		●																		
維持			×																	
低下		×	×																	
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>おはなし大賞は27年度までで合計25回実施したため、すべての応募作品を掲載するにはかなりの時間を要することが予想される。大賞受賞作品から優先して掲載していく等の工夫を要するものと想定される。</p>																				

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	生涯学習課長	江刺雄輝
---------------	-------	--------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p>☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p>☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																				
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>公民館事業として目的を再設定した。今後は、過去の優秀作品の活用など、更なる事業効果拡大を図る工夫が必要である。</p>							
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																		
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																		
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																		
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																		
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p>☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>過去の優秀作品の活用による事業効果拡大を図る必要がある。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		●																		
維持			×																	
低下		×	×																	

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項